



アペルト1

金光男

White light White heat

2014年9月13日(土) →
2014年11月24日(月)

金沢21世紀美術館は、若手作家を中心に
個展形式で紹介する展覧会シリーズ「アペルト」を開始します。

展覧会名	金光男 White light White heat		
企画	立松由美子(金沢21世紀美術館 キュレーター)		
会期	2014年9月13日(土) → 11月24日(月)		
	開場時間 / 10時~18時(金・土曜日は20時まで)		
	休場日 / 毎週月曜日(ただし、9月15日、10月13日、11月3日、11月24日は開場)9月16日、10月14日、11月4日		
会場	長期インスタレーションルーム	料金	入場無料
主催	金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]		
協力	MA2Gallery、日本精蠟株式会社、ホルベイン工業株式会社、マルオカ工業株式会社、かゆう堂		
お問い合わせ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800		

本資料に関するお問い合わせ

金沢21世紀美術館 広報担当: 落合 事業担当: 立松
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



展覧会について

本展「金光男(KIM Mitsuo) White light White heat」は、今まさに興りつつある新しい動向に目を向けて、新進気鋭の若手作家を個展形式で紹介する新しいシリーズ「アペルト」の第1回目です。金光男はシルク・スクリーンの技法を使って、イメージの反復と、反復にたぐりよせられたイメージ間の関係性を模索しています。板にパラフィン・ワックスを薄く敷き、その上にシルク・スクリーンで画像を転写しただけでなく、その表面に熱を加え、パラフィン・ワックスが溶融してイメージが崩壊する寸前で固められた作品群。イメージが完全に崩れ、パラフィン・ワックスと共に溶け出したインクの部分は無地に戻り、虚無な空間として残されています。平面でありながら、ワックスの盛り上がりによってかき乱された表面は、そのまま金自身の身体行為の痕跡でもあるのです。フェンスや梯子の、崩れてははっきりとしない輪郭によって、曖昧な境界の向こう側に、もうひとつの光の世界が感じられます。素材と技法の特徴を生かしながら、相対する現象が同じ世界にあることを暗示させ、本来のあるべき姿から本質を失っている状態を可視化しようとしています。

立松由美子(金沢21世紀美術館 コンサバーター/キュレーター)

「アペルト」シリーズとは

「アペルト」は、若手作家を中心に個展形式で紹介する展覧会のシリーズです。金沢21世紀美術館は世界の「現在」とともに生きる美術館として、今まさに興りつつある新しい動向に目を向けています。作家とキュレーターが作品発表の機会を共に創出し、未来の創造への橋渡しをします。国籍や表現方法を問わず、これまで美術館での個展や主要なグループ展への参加経験は少ないが、個展開催に十分な制作意欲を持ち、アペルト実施以後のさらなる飛躍が期待できる作家を紹介していくものです。※「アペルト(aperto)」は、イタリア語で『開くこと』の意味。

作家ステートメント

White light White heat

新しい部屋で眠りにつき、朝の光で目覚める。
朝の光がとても眩しく、さっきまで見ていた夢を(良い夢なのか、悪い夢なのか)もう忘れてしまい
靡げな意識で自分の身をくるんでいる布団の皺を見る。
光によって、白く発光している様に見える布団にくるまりながら、もう一度夢に戻りたいが戻れず気怠く身をおこす。

普段の変わらない生活の中に作品を作るための要素や、動機があります。それを具現化するためのプロセスや、完成した後、どのように世界と関係しているのかを紐解き、考え、どう生きていくかを模索していきたいと思っています。

金光男(KIM Mitsuo)

2



《row - moufu #2 (silver)》2014
parafin wax, screen printing, burner, panel
H116 × W80.3 × D2.5 cm
© MITSUO KIM

関連プログラム

レクチャー「後成的風景」

[日時] 2014年11月23日(日) 14:00~15:30

[会場] 金沢21世紀美術館 レクチャーホール

[講演] 木幡和枝(アートプロデューサー)

[対談] 木幡和枝+金光男、モデレーター:立松由美子(金沢21世紀美術館キュレーター)

[料金] 無料 [定員] 先着70名(事前申込制) [言語] 日本語

[申込方法] ウェブサイト、往復はがき(10月1日申込受付開始)

ウェブサイト:当館ウェブサイトのお申込フォームより必要事項を記入の上お申し込み下さい。

往復はがき:「後成的風景、レクチャー希望」とご記入のうえ、以下の宛先にお申し込みください。

〒920-8509 石川県金沢市広坂1丁目2番1号 金沢21世紀美術館 学芸課

[締切] 10月31日10:00(往復はがきは当日消印有効) ※結果は11月初旬にお知らせします。

※都合により、イベントの内容を変更する場合があります。最新のスケジュールは当館ウェブにてご確認ください。

作家プロフィール

金光男 KIM Mitsuo

1987年大阪生まれ。2010年京都造形芸術大学情報デザイン学科先端アートコース卒業、2012年京都市立芸術大学大学院美術科絵画領域版画科修了。

主な個展:2014年「非線型」(HAPS、京都)「CONFUSION」(MA2Gallery、東京)、2013年「-apart-」(LIXIL ギャラリー、東京)、「CONTROL」(eN arts、京都)、「SWITCH」(AKI Gallery、台北、台湾)、2012年「金光男個展」(日仏会館、東京)、「frow - thickness : KIM Mitsuo works」(Gallery PARC、京都)開催。

主な受賞歴:VOCA 2014 奨励賞、アートアワードトーキョー丸の内2012 フランス大使館賞、アートアワードトーキョー丸の内2012 木幡和枝賞、群馬青年ビエンナーレ 奨励賞(2012年)等受賞。



広報用画像

画像1~6を広報用にご提供致します。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。 Email: press@kanazawa21.jp

<使用条件>

※広報用画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを必ずご表示ください。

※トリミングはご遠慮ください。キャプション等の文字が画像にかぶらないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正用原稿を広報室へお送りください。

※アーカイブの為、後日掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

以上、ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



《row-kanaami #17, #16》2013
paraffin wax, screen printing, burner, panel
H227.3 × W162.3 cm
Collection of The Dai-ichi Life Insurance Co. Ltd.,
© MITSUO KIM



《row-saku》2013
paraffin wax, screen printing, burner, panel.
H80.3 × W65.2 × D3 cm × 2
Photo: TAKERU KORODA
© MITSUO KIM



《installation》2013
paraffin wax, screen printing, light, etc.
20 × 20 cm 150piece
"SWITCH" AKI Gallery (Taipei)
© MITSUO KIM



《row-umi #13 (silver)》
paraffin wax, screen printing, burner, panel
H80.3 × W116 cm
photo: YUKI MORIYA
© MITSUO KIM